

《用語解説》

ケーブルテレビ...同軸ケーブルや光ファイバを用いて行う有線放送のうち、有線ラジオ放送以外のもの。テレビジョン放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供しています。

B S...放送衛星 (Broadcasting Satellite)。 B S は衛星放送専用設計・製作された人工衛星で、通信衛星 (C S) の1つとして位置づけられています。現在、日本では放送衛星により B S デジタル放送と B S アナログ放送が行われています。

C S...通信衛星 (Communication Satellite)。またはそれを使用したテレビ・ラジオ放送のこと。提供するサービス面では、 B S 放送に比べチャンネル数は多く、各分野に特化した番組が多数放送されています。

I P 電話...インターネットを利用した電話。常時接続しているインターネット回線を利用するため、同じ契約会社間では通話料が無料となります。また、NTT や携帯電話等とも通話可能ですが、その場合は別途通話料がかかります。

地上デジタル放送...従来のアナログ方式と比べて、より高品質な(ゴーストや雑音のない)映像と音声を受信することができる新たな放送。2011年7月から地上デジタル放送へ完全移行される予定です。

地デジ対応テレビ...ハイビジョンなど高品質な映像や音声のデジタル放送を受信することができるテレビ。通常、地上デジタル放送のほかに B S デジタル放送なども受信できます。現在では、薄型の液晶テレビなどが主流です。

インターネット...コンピュータ同士を地域や国をまたぎネットワーク接続した、世界的規模の通信網です。ホームページを閲覧したり、写真や音楽など、さまざまなデジタルデータを送受信したりできます。

ブロードバンド...高速な通信回線のこと、大容量のデータを円滑に伝送でき、動画や高品質音楽のデータを短時間でスムーズに送受信可能です。

FTTH...ファイバー・トゥー・ザ・ホーム。光ファイバを家まで接続すること。

STB...セットトップボックス。そのままでは見ることができないケーブルテレビの信号をテレビに送るために変換したりする装置。安来市内で行われるケーブルテレビの場合、既にデジタル放送視聴可能なテレビがあり、かつ、基本チャンネルを見るだけであれば不要。